

全 員 協 議 会

令和元年8月19日(月)
10時00分～ 時 分
全 員 協 議 会 室

〔議員〕

川神議長、田畑副議長
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、道下議員、西田議員、澁谷議員、
西村議員、牛尾議員

〔執行部〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長、
教育長、総務部長、地域政策部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、
都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長、
上下水道部長、(広域行政組合事務局長)

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

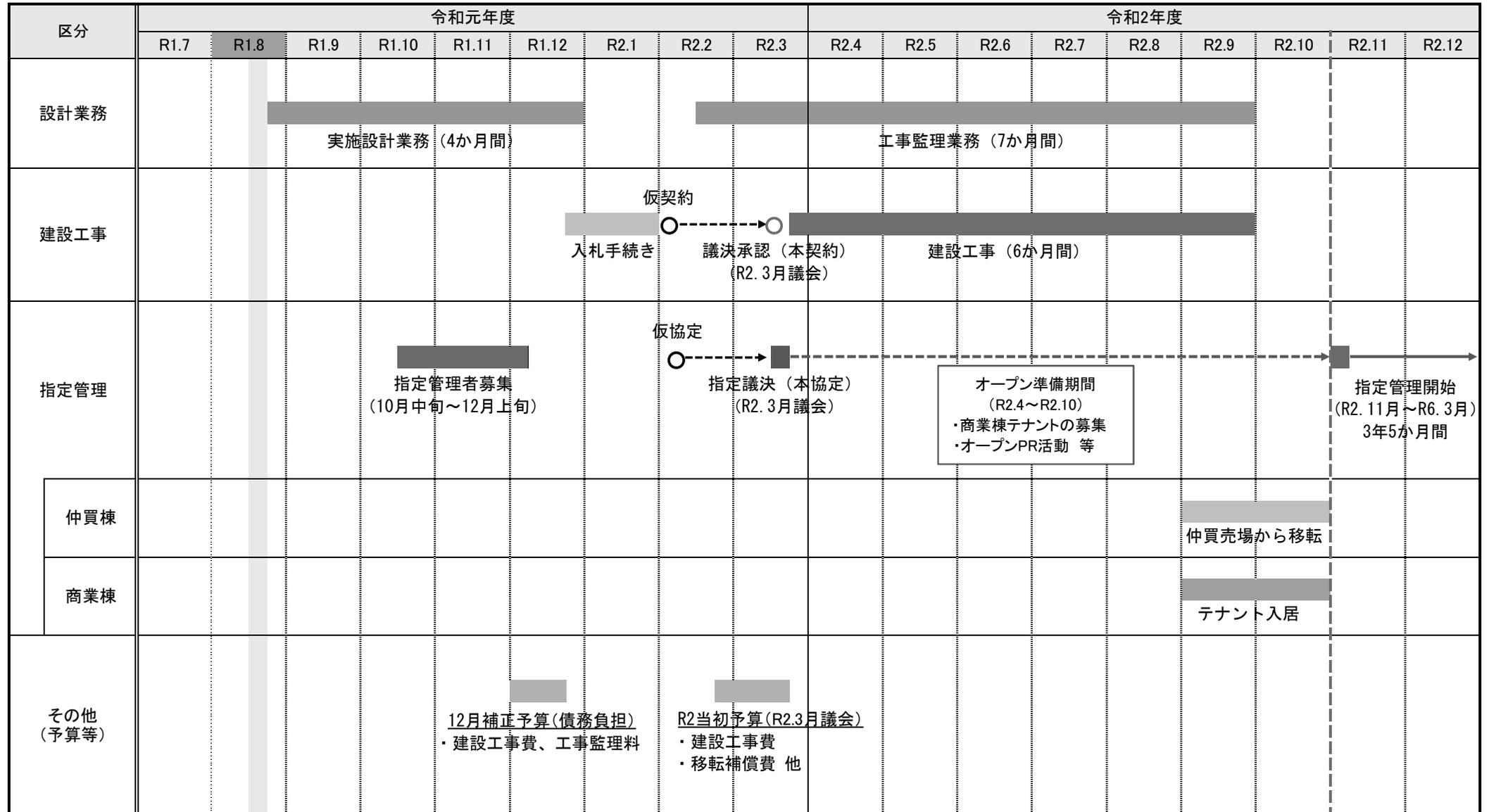
議 題

1 執行部報告事項

- | | |
|-----------------------------|---------|
| (1) 山陰浜田港公設市場の整備スケジュールについて | 【産業経済部】 |
| (2) 浜田開府400年祭記念式典について | 【産業経済部】 |
| (3) (仮称)浜田歴史資料館検討会の検討状況について | 【教育委員会】 |
| (4) その他 | |

2 その他

山陰浜田港公設市場の整備スケジュールについて



OPEN

浜田開府 400 年祭記念式典について

- 1 概要 第 1 部は、当市と歴史的なご縁を有する自治体や団体の関係者とともに、開府 400 年を祝し、浜田の歴史・文化・まちづくりの歩みをふりかえり、郷土への愛着と誇りを高める。
第 2 部では、次世代を担う若者によるパネルディスカッション等を通じて、次の 100 年に向け目指すべき浜田の未来像について考える。
- 2 日時 令和元年 10 月 13 日（日） 14 時から 17 時 20 分まで（受付 13 時開始）
- 3 場所 石央文化ホール 大ホール
- 4 参加者 約 700 名（うち市外参加 150 名程度、広報はまだ 9 月号に掲載）
- 5 式次第

◆第 1 部（約 70 分）

14:00	オープニングアトラクション（恵比須）	10 分
14:10	開会	
14:10	記念動画上映	10 分
14:20	国歌斉唱	5 分
14:25	主催者あいさつ	5 分
14:30	来賓祝辞及び来賓・祝詞紹介	25 分
14:55	功労者表彰	15 分

～休憩（10 分）～

◆第 2 部（約 120 分）

15:20	オープニングアトラクション（保育園児による鼓隊演奏）	10 分
15:30	小中学生による作文の表彰及び発表	20 分
15:50	パネルディスカッション	70 分

「400 年に想う未来～次の 100 年に向けて～」

パネリスト 4 名

床並 亜有子さん（島根大学医学部 3 年生）

佐々木 啓介さん（(有)佐々木農場専務取締役）

河上 清貴さん（(株)シーライフ専務取締役）

小川 直城さん（島根県立大学 3 回生）

コメンテーター 久保田章市浜田市長

コーディネーター 田中輝美

（浜田市出身 ローカル・ジャーナリスト）

17:00	クロージングアトラクション 書道パフォーマンス（浜田高校）	20 分
17:20	閉会	

◆展示ホール・ホワイトエ（13 時～17 時半）

- ・浜田市観光協会による協賛商品・特産品等の販売
- ・開府 400 年パネル・駅鈴みこし等の展示

◆周辺道路（10 時～14 時）

- ・「BUY 浜田昼市」による特産品やグルメを販売するテント（10～15 店舗）
- ・伝統芸能等を紹介するミニステージ（5 団体）
- ・飲食、鑑賞を楽しめるスペース

6 式典前後の日程

10 月 11 日（金）	18:30～	ミュージカル（1 回目）
10 月 12 日（土）	13:30～	ミュージカル（2 回目）
10 月 13 日（日）	10:00～14:00	BUY 浜田昼市（特産品販売・伝統芸能披露）
	14:00～17:20	浜田開府 400 年祭記念式典
	18:00～	歓迎レセプション

(仮称)浜田歴史資料館検討会の検討状況について

1 開催状況

(1) 第 4 回(仮称)浜田歴史資料館検討会

ア 日時 令和元年 7 月 22 日 (月) 18 時 30 分～20 時 00 分

イ 会場 浜田市役所 本庁 4 階講堂 A B C

ウ 内容 前回の質問事項に対する回答

資料館建設について(各委員から意見) (別添 第 4 回資料を参照)

エ 委員からの意見【主なもの】

第 3 回の会議で、会長提案により委員の意見整理のための参考となる文書を配布し、それをもとに意見交換を行った。

(資料館建設全般に対する意見)

- ・ 現在の浜田郷土資料館の展示を見直し、今後の資料館建設に役立てるべき。魅力的な展示をお願いしたい。
- ・ 既存の民間の施設としっかりとした連携が必要である。
- ・ 子どもたちにとって絶対に必要な施設である。
- ・ 建設、運営、特に古い物は費用がかかるのは確かであるが、現在の浜田郷土資料館の状況をみると建設は必要である。
- ・ 現在の美術館は現行のまま活用すべきである。

(たたき台として提示した案に対する意見)

- ・ 歴史的観点からすると、御便殿付近も津波浸水などの心配はあるが、条件付きで賛成である。(下駄履きなど対策することで補ってはどうか。)
- ・ 平成 28 年度に建設費が高額であることから予算案を取り下げたことを考えれば、絶対に C 案が良い。財政的見地を考えて複合化は賛成である。
- ・ A 案、C 案は暗いイメージがある。B 案だと明るいイメージがある。
- ・ 施設単体での運営は財政的に厳しい。複合化が基本だと考える。
- ・ 市役所北分庁舎(警察署跡地)を候補地として考えてはどうか。
- ・ 設置場所は利用者が行きやすいところが良い。
- ・ 運営費が市の財政にとって負担とならないか心配である。
- ・ 建設には賛成であるが、運営費など市民へ説明し、理解を得ることが必要である。
- ・ 施設の完成後の効果について示すべき。分かりやすい説明、資料が必要である。
- ・ 完成後の検証はしっかりと行うべき。(利用者、効果、運営状況等)

(裏面に続く)

- ・ 今回の検討会では、ほとんどの委員から建設については賛成という意見が示された。
- ・ 検討会としての報告案をまとめたいとの会長の意向により、次回も会議を行うこととし、委員に対して、アンケート形式での意見提出を依頼した。
- ・ 委員から提出されたアンケートを取りまとめ、第 5 回検討会では、検討会としての報告案を協議することとしている。

2 今後のスケジュール（予定）

8 月 22 日（木） 第 5 回検討会

9 月 10 日（火） 総務文教委員会に検討会での検討結果を報告

第4回 (仮称)浜田歴史資料館検討会

日時 令和元年7月22日(月)
午後6時30分～午後8時00分
場所 浜田市役所4階講堂ABC

1 会長あいさつ

2 市長あいさつ

3 議 題

(1) 前回の質問事項の回答(現地視察に関するものを含む。) 資料1

ア (仮称)浜田歴史資料館の展示イメージについて 資料2

イ 世界こども美術館(C案)における改修・増設案について 資料3

ウ 市内2美術館の概要について 資料4

(2) 資料館建設について(各委員から意見)

4 その他

(1) 今後について

第3回検討会での意見に対する回答（未回答分）

区分	番号	意見	回答
① 【展示内容について】	1	展示内容が分からないとどの案が適しているか検討することは難しい。	展示内容の概略イメージは第4回の検討会でお示しします。 概ね 歴史資料館では、全市の歴史文化を対象にし、資料の活用や保存、継承が行えるように考えています。従って浜田郷土資料館が収蔵、展示する資料のほか、各自治区の資料館に収蔵、展示する資料の中から全市の歴史文化を展示、紹介するために必要な資料は展示を行うこととなります。
		この検討会でも、展示内容等について意見を出し、今後の専門家による検討会に引き継ぐ必要があるのではないかと。	展示概要に関するご意見も伺い、整備の方向性が固まれば、専門家による検討会に諮りたいと考えています。
		展示はどういったものを想定して事業費を積算したか。3案とも同じ展示内容と思うが、どの案が適しているか判断するために必要なもので、情報提供してほしい。	
		整備費・運営費で考えればC案となる。が、展示内容が示されれば、もっと有意義な議論になると考える。	
	2	豊ヶ浦を紹介する民間の資料館は既にあるが、そういった施設との関連はどうなるか。歴史資料館では浜田地震の展示等を行うか。	豊ヶ浦については、浜田の歴史において欠かせない内容であることから、歴史資料館においても紹介をし、民間の既存施設に誘導できるような仕掛けを検討するなど連携を図ります。
3	金城の2つの資料館以外は浜田に集約することとなれば、資料数が相当数になると思われる。そうすると、何を展示するか、残すかの議論も必要となる。 金城も浜田に集約した方が将来的に良いと考える。歴史資料館に他の自治区の資料あり、金城のものだけがないことになってしまう。	各自治区の資料館の地元郷土資料をより多くの方が観覧できる機会を提供するため、支所の空きスペースを活用し、収蔵資料の一部を展示することとしています。 金城も含めて、全市的な資料と考えられるものについては精査をし、歴史資料館での展示機会を設けることを考えています。	
4	現在の浜田郷土資料館は、老朽化している。また、展示は歴史順に並べてあるが、雑多すぎて勉強・研究する状況ではない。 今の郷土資料館の問題点を、しっかり把握をする必要がある。	現在の浜田郷土資料館は施設の老朽化が顕著であることから、建替えは必要と考えます。 現在の資料館の問題点を洗い出し、多くの皆さんに分かりやすくご覧いただけるような展示方法等について検討します。	
5	歴史の流れとして大切な、御便殿(浜田城資料館)と歴史資料館の関係はどうか。御便殿は北前船が目玉になるだろうが、歴史資料館との展示内容のすみ分けはどうなるか。	浜田城資料館では浜田城と北前船をパネル展示を中心に案内、紹介します。歴史資料館は浜田市全体の歴史、民俗、偉人に関する資料展示等が主なものとなります。	

区分	番号	意見	回答
② 【事業費・運営費について】	1	子どもたちに故郷を学ばせる施設があることは良いと思うが、運営費が高額であることは心配である。	<p>運営費については、事業展開等から考慮すると提示した程度の額は必要と考えます。なお、運営費の課題も再検討したうえ、今回、C案をお示ししました。</p> <p>また事業費につきましては、既存の郷土資料館等の現状から判断して展示室や収蔵庫の必要面積を見込み、温度や湿度管理が必要な施設として積算しました。このうち展示ソフト関係に3億4～5千万円程度かかります。</p> <p>本物を見せるためにはお示した提示額程度は必要と考えますが、引き続き、圧縮が可能かどうかについて検討します。</p>
		<p>平成28年度案の事業費が高額という理由で取下げとなった経緯を鑑みると、今回の案は市民が納得するものでなければ、検討会としても認められない。</p> <p>費用面ではC案だが、歴史的背景を考慮するとA案が良いと考える。資材の高騰、建築方法等から提示額となることは理解するが、圧縮できないか。何らかの圧縮検討案を示してほしい。検討したとの事実が重要である。</p>	
③ 【館長職について】	1	館長はどういった人物を想定しているか。天下りではなく、企画力・営業力のある人物としてほしい。	館長職は、歴史・文化に造詣が深く、ふるさと郷育を推進できる方をお願いしたいと考えております。
		館長は地元で文化活動を行い、文化遺産を大切に人がやるべきである。	
		社会教育施設は館長の手腕が大きく影響することから、全国から選任すべきではないか。集客力のある企画を展開できる人物が必要である。	
④ 【入館者・利用者について】	1	小中学生の利用800人の試算は、近年の児童・生徒の1学年当たりの人数は400人であることから、3年生と6年生を想定しての数値と考える。	市内小中学生のうち、いずれかの2つの学年全員が1年間に1回利用とする想定としました。小学3年生では民具について、6年生では歴史について学ぶことから、ご推察のとおりといえます。
	2	歴史資料館の入館者見込は平成28年度の推計であり、その後4年が経過しているが、市の目標は当時と同じものか。	今回お示した案は建設場所が異なるため、それぞれの条件に合わせて、平成28年度推計値を参考に計算したものです。また、資料館をふるさと郷育の拠点とし、小中学生の学びの場とする考えから、平成28年度の推計値より児童・生徒利用数を350人増加しております。
	3	平成28年度の利用者数推計では広島市民へのアンケート回答者数から推計を行っているが、これは統計学的にと根拠となる数値となっているか。	アンケート回答者数は599人とサンプル数としては少なく、統計上の根拠としては希薄といえますが、リピートなしで仮定するなど厳し目に推計していて、目安となる数値と考えます。
	4	有料入館者数の根拠を知りたい。	市内公民館利用者、各案の隣接する施設の入館者から推計したものです。

区分	番号	意見	回答
⑤ その他	1	<p>金城では様々な意見があり、一部では地元の貴重な資料は地元で守りたい、継続して保管したいという声がある。</p> <p>歴史資料館が浜田にできれば、それ以外の自治区の子どもたちは、わざわざバス等を利用して資料館まで行くことになる。</p>	<p>現在各資料館の地元郷土資料をより多くの方が観覧できる機会を提供するため、支所の空きスペースを活用し、収蔵資料の一部を展示する作業を進めています。これは、地元の方が地元郷土資料をより身近に、観覧できる機会にもなると考えています。</p>
	2	<p>野島家の活用はどうか。</p>	<p>現在居宅として使用されていることから、活用は困難と考えます。</p>
	3	<p>御便殿は城山の一部であり、歴史的背景からすればA案が良いと考える。城山周辺を整備して市民の憩いの場にしてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
	4	<p>御便殿中心に城山周辺の歴史的景観の復元を目指してはどうか。松江のように城下町の景観を大切にすべきである。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
	5	<p>子どもたちに残したい施設はどういったものかを考えるべきである。展示資料は見やすく、広く環境の良いところで学ばせたい。そういった意味で、資料館は重要な施設である。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
	6	<p>外ノ浦の日本遺産認定といった契機もあり、整備場所としてはA案が最適である。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
	7	<p>浜田郷土資料館は老朽化しており、歴史資料館の必要性を感じた。これまで事業費の観点からC案と思っていたが、委員の様々な意見を聴くことでA案の良さにも気づいた。</p>	<p>貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>

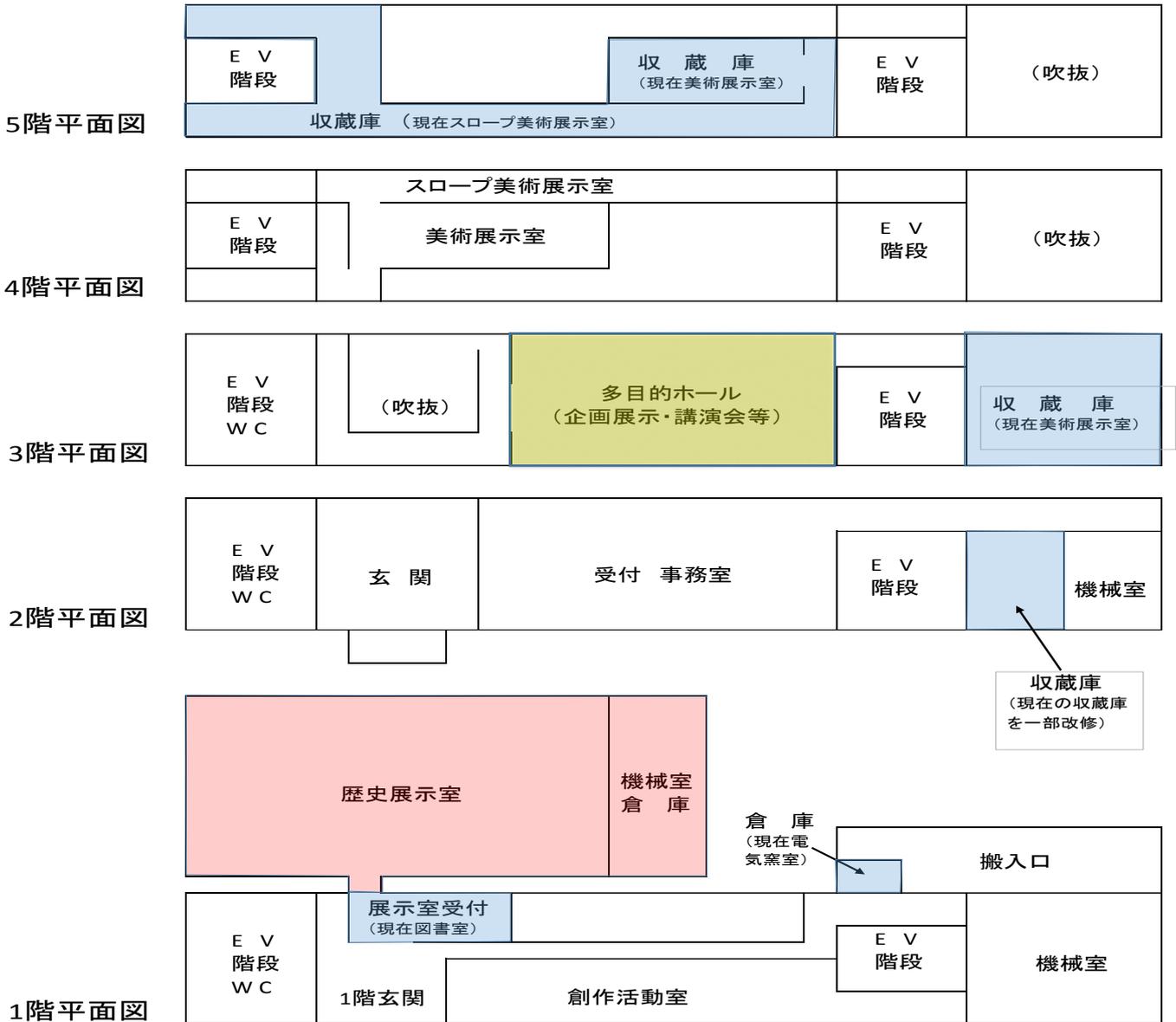
展示イメージ

	歴史	民俗	偉人
先史・古代（旧石器～平安）	<p>遺跡から出土した土器や石器をはじめ、石見国分寺の瓦等から、浜田が石見の中心地であったことを紹介</p>   <p>石見国分寺の瓦</p>  <p>誕生仏</p>	<p>江戸の民具 紙漉きやたたら製鉄、長浜人形に関する用具から地場産業の様子を紹介</p> 	<p>古代の偉人 石見国府の国司となった万葉歌人の柿本人麻呂を紹介</p>  <p>柿本人麻呂</p>
中世（鎌倉～室町）	<p>中世の遺跡から出土した輸入陶磁器や木製品から生活の様子を紹介したり、輸出された長浜刀等から朝鮮貿易等を紹介</p>   <p>長浜刀</p>  <p>古市遺跡出土の輸入陶磁器や土器</p>	<p>明治・大正の民具 農業や漁業、山林業に関する用具や石見神楽、田楽子等の習俗から生活の様子を紹介</p> 	<p>中世の偉人 三隅氏、福屋氏、周布氏、永安氏といった領主の紹介や鎌倉時代の浄土宗を布教した僧侶等を紹介</p>  <p>良忠上人</p>  <p>三隅兼連</p>
近世（江戸）	<p>浜田・津和野藩や城下町、村の生活等について古文書や絵図等から紹介するほか、幕末の石州口の戦いについても甲冑等により紹介</p>   <p>康親所用甲冑</p>  <p>松平右近将監家の家紋入り重箱</p>  <p>岸静江籠手</p>	<p>昭和の民具 生活用品や古写真等から生活が大きく移り変わっていく様子を紹介</p> 	<p>江戸の偉人 政治や地域に尽くした偉人等を紹介（下記の偉人は事例として表示）</p>  <p>岡本甚左衛門</p>  <p>岸静江</p>  <p>松平武聡</p>
近現代（明治～平成）	<p>浜田県や歩兵第21連隊について、関係する古文書や古写真、絵図等から紹介。また、港や町の変遷、生活の移り変わり等についても紹介</p>   <p>石見焼</p>  <p>浜田県庁の棟札</p>		<p>明治以降の偉人 政治、経済、文化等の各分野で多くの偉人が活躍していることを紹介（下記の偉人は事例として表示）</p>  <p>佐々田懋</p>  <p>島村抱月</p>

世界こども美術館との複合化について（C案）

1 世界こども美術館の改修・増設案について

前回の検討会で開催した現地説明会において、改修・増設場所等が分かりにくいことから各階の改修・増設案を示します。



改修 5階295㎡+3階139㎡+2階69㎡+1階63㎡=566㎡
 増設 歴史展示室420㎡+機械・倉庫100㎡=520㎡

2 世界こども美術館の施設名称（案）について

前回の検討会で質問があった世界こども美術館との複合に伴う施設名称案を示します。

現在の名称：浜田市世界こども美術館創作活動館

複合時の名称案：（仮称）浜田市郷土博物館

市内 2 美術館の概要

資料 4

※ 6 月議会において議員から(仮称)浜田歴史資料館検討会に情報提供
しておくべきものとの意見があったことから提供するもの

名称	世界こども美術館創作活動館	石正美術館
設置時期	平成 8 年 11 月	平成 13 年 4 月
目的	子どもの美術鑑賞及び創造力の育成を図り、海外の子どもたちとの文化交流を推進するとともに、美術に関する市民の知識及び文化の振興に寄与する。	市民の美術その他の芸術文化に関する知識及び教養の向上を図り、地域文化の振興に寄与する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会事業 ・ 創作活動・教育普及活動事業 (ミュージアムスクール、創作活動等) ・ 美術品及びその他美術に関する各種資料の収集、保管 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会事業 ・ 創作活動・芸術文化普及活動事業 (石本正絵画教室、日本画教室等) ・ 美術品及びその他美術に関する各種資料の収集・保管 ほか
投資額	約 19 億円	約 7 億円
利用者数		
平成 28 年度	47,703 人	14,914 人
うち有料入館者数	27,542 人	3,803 人
平成 29 年度	47,582 人	12,170 人
うち有料入館者数	27,076 人	3,422 人
平成 30 年度	50,173 人	11,177 人
うち有料入館者数	30,623 人	2,628 人
職員数	7 人	8 人
正規職員	2 人	2 人
非常勤嘱託職員		1 人
嘱託職員	3 人	2 人
臨時職員	2 人	1 人
パート職員		2 人
運営費 (H30 実績)	7,427 万円	4,577 万円
浜田市の負担額	5,970 万円	4,208 万円